

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○「手をつなごう 笑顔いっぱい 大好き滝小」を子ども一人ひとりが実感できるように、活力と魅力にあふれた学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団生活を通して、豊かな人権感覚を育てる教育を推進します。 ・学びの楽しさを実感できる授業づくりを推進します。 ・クラスや学年の枠を越えて、相互に啓発・連携しつつ、全職員で全校の児童を育てる体制づくりを推進します。 ・家庭・地域と連携し、信頼される学校づくりを推進します。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	<p>①仲間づくりを大切にした教育活動を実践する。②道徳教育・人権教育を充実させる。いじめの根絶に向けて取り組みを強化する。③一日の生活を豊かにする「あいさつ」の意味を考えさせ、日常に根付かせる。④教職員・児童の人権意識を高める校内研修を実施する。⑤いのちの学習を計画的に実践する。</p>
担当	人権・福祉

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

地域同士のつながりが強いが、家庭的に課題を抱えている児童も少なくない。その課題が、児童の教育環境に影響を与えている。自己肯定感が低く、自己表現が苦手である。そのため、相手とのコミュニケーションが苦手な児童がいる。人の気持ちを考えて行動することや、自分から相手の顔を見てあいさつすることなど、理解していても行動に表すことが難しい児童が多い。一方で、素直で興味のあることに一生懸命に取り組むことができる児童も多い。友達と協力してよりよい活動を行えるよさもある。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

- ・要となる「道徳科」において、児童の実態に即したねらい、展開を工夫し、指導の充実を図る。
- ・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、各学級の道徳の時間との関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行う。
- ・全学級の「道徳科」の授業を、年1回以上保護者に公開し、家庭との共通理解を図る。

【項目 人権教育】

- ・子どもの社会的スキル横浜プログラムの実施を教育課程の中に位置づけ、意図的計画的に子ども社会的スキルの系統的な育成を図る。
- ・年間2回のYPアセスメント調査を実施し、学年・ブロック研究会で検討会を開催して、学級課題の改善や個人の課題の改善に向けて、教師集団が「だれもが安心して豊かに」過ごすことができる学級づくりに努める。
- ・学級懇談会で子どもの社会性の育成について家庭との共通理解を図る。